

わがままに、日本を楽しむ旅のおとも。

KAZI MOOK

個人予約の旅と宿

日光・那須・群馬

let's take a trip to NIKKO, NASU, GUNMA

エリア別 嶽選

32軒

一度は泊まりたい 憧れの宿

PREMIUM STAY

世界遺産をたずねる

日光・中禅寺湖

大温泉地からテーマパークまで

鬼怒川

季節の花々が彩る高原リゾート

那須高原

渓谷沿いに連なる名湯の数々

塩原温泉郷

日本三名泉や歴史深い古湯

群馬 温泉大国

読者プレゼント
ペア宿泊券など

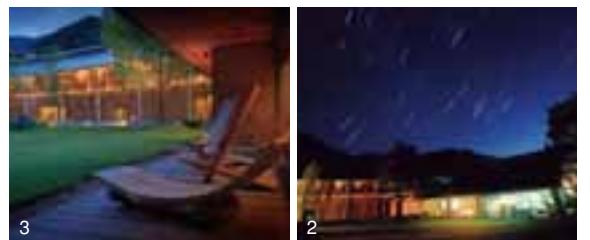


1.自然の中の閑静な読書ルーム。一冊の本を取り、静かに思索の時を過ごしたい。

和とモダンの奇跡の調和を実現 五感で味わう究極の和リゾート

日本百名山の一つとされる谷川岳。群馬・新潟の県境にある三国山脈の中にあり、周囲の万太郎山・仙ノ倉山・茂倉山などを総じて谷川連峰と言い、その険峻は剣岳・穂高岳とともに日本三岳石場の一つにも数えられている。その雄大な谷川岳を目前に豊かな緑に囲まれ、谷川の清流に沿って広がる日本を代表する文豪たちにも愛されてきた静かな谷川温泉の地に『別邸仙寿庵』は建つ。茅葺門をくぐるとそこは別空間が広がり、訪れたゲストを別世界へ導く。さわやかに溪流を吹き抜ける風が心地よく、自然を感じ事ができ、玄関に入れば和とスタイリッシュなデザインの調和の館内に感嘆する。どこか懐かしくも機能的で、建築様式、家具やインテリアの一つ一つに至るまでこだわりがうかがえる。アジアにおけるリゾートを目指し、「12年にはフランス発の世界的権威を誇る高級ホテル&レストランの会員組織「ルレ・エ・シャトー」に加盟した。世界に通ずる「旅館のおもてなし」を体現する為「和のリゾート」を追求し、今もなお進化を続けるこの宿では、日常では味わう事ができない体感を存分に愉しみたい。

2.ロビーを抜けると中庭が広がり、夕暮れの時間をおんびりと過ごせる。夜には満天の星空を望める



谷川温泉
別邸 仙寿庵
べってい せんじゅあん
TEL 0278-20-4141
<http://www.senjyuan.jp>

3

2



世界に誇る黄金を館で 至福の旬を堪能する

別邸 仙寿庵

夜はまばゆいばかりにライトアップされ、まるで黄金の館のようだ。まさに世界に誇るリゾート空間を実現している

PREMIUM STAY 2

011

010

日光東照宮

NIKKO TOSYOGU

江戸幕府の初代將軍・徳川家康を祀るため
に三代將軍である家光が築いた日光東照宮。
「費用は一切お構いなし」という家光の意向
で日本中のから一流の工匠たちを集めて彫刻
が施された建造物はいずれも精緻を極め、
「日光を見ずして結構と言ふことなかれ」と

いわれるほど豪華絢爛なものとなつた。陽明
門や三猿、左甚五郎作と伝わる眠り猫など見
所が多い。建物は9棟が国宝、94棟が重要文
化財であり、それら103棟のうち42棟が世
界遺産である。



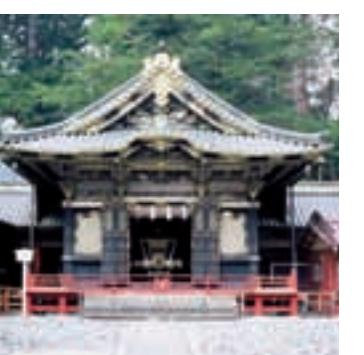
陽明門【国宝】

日光東照宮を代表する門。故事逸話や子供の遊び、聖人賢人など500以上の彫刻が施されており、一日中見ても飽きないことから「日暮門」とも呼ばれている。



一ノ鳥居(石鳥居)【重要文化財】

元和4年(1618)に筑前福岡藩主黒田長政によって奉納された石造りの鳥居。江戸時代に作られた石造りの鳥居としては日本最大級の大きさを誇る。掲げられている「東照大權現」の扁額は、後水尾天皇の宸筆といわれている。



神輿舎【重要文化財】

春秋渡御祭に使用される三基の神輿が納められている。建物内部には、天女の絵では日本一の美人ともいわれる天井画が描かれている。



五重塔【重要文化財】

慶安3年(1648)に小浜藩主酒井忠勝によって奉納されたが、火災に遭い文政元年(1818)に同藩主酒井忠進によって再建された。日光山内の神仏混淆のひとつ。初層を飾る十二支の彫刻が鮮やか。



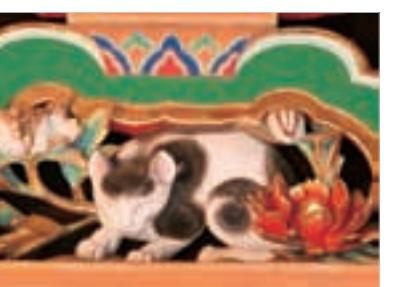
三神庫【重要文化財】 (上神庫・中神庫・下神庫)

三神庫とは上神庫・中神庫・下神庫の総称で、この中に春秋渡御祭「百物揃千人武者行列」で使用される馬具や装束類が収められている。上神庫の壁面には、狩野探幽が実際の象を知らずに下絵を描いたという「想像の像」の彫刻があり見もの。



神厩舎(三猿) 【重要文化財】

神馬をつなぐ厩で、東照宮の境内で唯一の素木造り。昔から猿が馬を守るとされているところから、長押に猿の一生を描いた彫刻が8面ある。特に「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿の彫刻で知られている。



眠り猫【国宝】

左甚五郎の作と伝えられ、その真裏には雀の彫刻もある。猫が起きていれば雀は食べられてしまうが、ここでは猫も居眠りをして雀と平和共存している、ということで平和な時代が到来したことを表しているといわれている。



本社【国宝】

本殿・石の間・拝殿からなり、秀忠によって造営された本殿は日光山内で造営した当時のままの姿を伝えている。また、拝殿の左右には「将軍着座の間」と「法親王着座の間」もある。



唐門 【重要文化財】

東照宮の本社正門にあたる門。全体が胡粉で白く塗られており、1枚のケヤキ板に4列27人の人物が描かれている「舜帝朝見の儀」などの細かい彫刻が施されている。

まだまだ 見所満載！

表門(仁王門) 【重要文化財】

東照宮最初の門で、左右に高さ4mの仁王像が安置されており仁王門とも呼ばれている。82もの鳥獸花木の彫刻が見られる。



奥社【重要文化財】

東照宮の祭神である徳川家康の墓所。207段の石段を登ると銅鳥居があり、その先に拝殿と宝塔がある。宝塔は家康の神柩のことと、金・銀・銅の合金である唐銅製で造られている。

武徳殿

【登録有形文化財】

大正4年(1915)に東照宮300年祭を記念して建てられた参拝休憩所が前身。剣・柔・弓道、相撲などの部門からなる武道大会が行われていたが、大戦の影響で中止。戦後の占領政策によって各種武道は禁止されたが、昭和26年(1951)に剣道大会が全国に先駆けて開催され、のちに現在の全日本剣道連盟も設立が決定されたことから「戦後剣道復活の地」とも称される。

本地堂「日光の鳴龍」

薬師如来像を祀る堂。内陣に描かれた「日光の鳴龍」は下で拍子木を叩くと天井が共鳴して、澄んだ鈴の音が返ってくる。狩野永真が描いたが焼損し、現在は堅山南風の復元したものが見られる。

日光東照宮宝物館

東照宮350年祭の記念事業として、昭和43年(1968)に開館した宝物館。家康の遺愛品や朝廷から寄贈された品々を収蔵展示している。

渡御祭

「百物揃千人武者行列」

5月18日の春、10月17日の秋の2度開催される例大祭のハイライト。久能山から家康の神靈を日光に移した当時の祭典を再現したもの。二荒山神社の境内に集合した産子会員(春1200人、秋800人)が、表参道から神橋の近くの御旅所まで約1キロの道を渡御する。

5.「木心亭」の客室一例。伝統的な和のしつらえからは、気品が感じられる（露天風呂付客室一例）



4



2



3

2.木の館客室一例。全室が鬼怒川渓谷に面した客室は、本間10畳と次の間6畳に広縁がついた贅沢な造り 3.木の館露天風呂付客室一例。四季折々の風景に囲まれ、せせらぎを聞きながらゆっくりと湯浴みを堪能できる 4.木心亭檜造りの露天風呂付客室一例。源泉かけ流しの湯と上品で繊細な檜の香りが、萌える若葉のゆるやかに揺れる静かな森に包まれるかのような安らぎを与えてくれる

5

宿人のこだわり

この宿では、時代色の豊かな江戸浮世風呂、木の香り豊かな古代檜風呂、色鮮やかな大露天風呂、情緒豊かな屋形船風呂、個性豊かな樽風呂、野趣豊かな貸切露天風呂（有料）などで、自分好みの温泉気分が味わえるのが魅力。全て男女入替制の為、全ての風呂が楽しめる。これらは全館共通で満喫する事ができる。



6

6.月見亭での夕食イメージ。鍋を囲み、揚げ立て天婦羅をはじめ、前菜、造り、焼き物、蒸し物等、地の食材と旬の味覚を取り合わせた会席膳



7

7.料亭「月見亭」。中庭を眺めながら上質な食文化を堪能できる一番人気のお食事処 8.会席料理（部屋食）イメージ。栃木の味覚と四季の彩りを盛り込み、その時に一番美味しい食材を最大限までいかして提供する

8

INFORMATION

料金	1室2名／1泊2食付き1名（税別・入湯税別） 平日 15,000円～ 休日前日 18,000円～
施設	和洋63室、和洋38室、洋32室、内湯（男女入替）、露天風呂2（男女各1）、貸切露天風呂4、カラオケバー、カラオケBOX、野外プール、卓球等
温泉効能	弱アルカリ性単純温泉 神経痛、筋肉痛、冷え性、疲労回復等
チェック	IN15:00～ / OUT～10:00

栃木県日光市鬼怒川温泉大原1409
電車／東武鉄道「鬼怒川温泉」駅より徒歩約5分
車／日光宇都宮道路「今市」ICよりR121経由で約30分



9

鬼怒川の温泉街にたたずむ『鬼怒川パークホテルズ』は、敷地内に4つの宿が並ぶリゾート型のホテル。それぞれにプランが用意されているため、旅の予算や目的に応じて選べるのが魅力だ。その中でも華やかさが際立つのは「木心亭」と名付けられた宿で、離れた趣を主眼に建てられた。客室は季節をテーマに全12室用意され、室内には手書きの天井絵や漆仕上げ絵屏風などが飾られている。うち6室には専用の露天風呂が備わり、石造りと檜造りの2種類を優雅に満喫できるのが嬉しい。夕食は地元の旬の素材をふんだんに使用した創作会席料理を客室で味わえる。料理人が吟味した食材と確かな技をゆつたりと「目」と「舌」で楽しんでほしい。「木心亭」のほかにも、本館に相当する「木楽館」、花鳥風月をテーマに全室から渓谷が眺められる「木の館」、和の趣とは一転してアメリカンな雰囲気をまとった「パークコテージ」の3つの宿がある。また益子焼ギャラリーや夏季限定の滝の流れるプール、昔懐かしい射的も楽しめる提携店のお祭り広場、足元に池が広がるお洒落なカフェテラスなどもあり、自分好みの旅が必ず見つかると/orピーターが多いのもうなづける。

4つの宿から客室をチョイスする自分好みの旅のスタイルを提供

鬼怒川温泉
鬼怒川パークホテルズ

きぬがわパークホテルズ
TEL 0288-77-1289
<http://www.park-hotels.com>

